めるのか聞きたい。

少年少女ロボットセ

ることになり、これもまた

局無線機とデジタル簡易無 |実強化として、携帯型移動

線機の配備が拡充されるが、

の難しさ、奥深さを実感す

人材育成になる。

人でも多くの若者が将

一効果について聞きたい。

については、消防本部との

携带型移動局無線機

組みを、今後どのように進|することで、ロボット製作

質問

消防団員の装備の充

ットセミナーー n 藤沢など | 生や大学生が、ロボットの

の人材育成につながる取り

つくり方を小中学生に指導

円滑な体制を構築 消防団への無線配備 わる人材育成について、先

日実施された少年少女ロボ

また、協力してもらう高校

|業と捉えることができる。

質問

ロボット産業にかか|という意味で、

人材育成事 | 子ども世代から継続して実

施していきたい。

体験等により人

材育成に

つなげ

Ź

に使用するものである。こ|

図り、円滑な無線運用体制

や従業員に対するがん検診 市民へのがん検診受診啓発

の受診勧奨等となっており、

|予定である。国は採用5年 の要綱に沿い、市が定める た、対象者については、国

在住)

平岩多恵子氏

任期満了となるため、新た|年間。

平成29年3月31日をもって | ら32年6月30日までの3

締結した。協定の内容は、|果があると考えている。ま くりの推進に関する協定を 離職防止、確保に一定の効

ら32年3月31日までの3

任期は29年4月1日か 議会はこれに同意した。

〇監査委員の選任について

藤沢市監査委員の1人が、

子ども世代からの

継続

した事

業を実施

生が楽しみながらロボット

|リエーターが生まれるよう、 |本市から未来のロボットク |来ロボット産業にかかわり、

.関する知識や体験を得る|今後もロボット関連事業を

楽しみながら知識や体験を得る

ロボット製作により、

担を明確にして、さらに学

図書ボランティアの役割分|

ついて検討していきたい。

災害用食品の備蓄

アレルギーの対応は

防災備蓄の整備につ アレルギー対応食品

学校図書館専門員と教職員、| の課題解決に努め、対応に が報告されている。また、| そのノウハウをもとに今後 整理されて見やすくなった、れることで管理等の課題が

小中学校全5校に配置して

答弁 学校図書館専門員は

いる。配置によって書架が

|効であるが、学校が開放さ

ては、地域の方の利用に有

学校図書館の開放につい

応について聞きたい。

の見解を聞きたい。

ていきたい。

域へ開放することについて 方向性と、学校図書館を地

校図書館を活性化するため、

営に関して、学校図書館専

ックを作成した。今後は、 学校図書館の運営ガイドブ

学校図書館の管理運

門員の活動状況及び今後の|ガイドブックにのっとり活|

いて、 質問 を対象としており、小中学 会を生きていく子どもたち 来身近にロボットがある社 ミナーin藤沢は、近い将

## ボ ツ 産業

平成 29 年度 特別会計予算 (総額 2,854 億 万8千円)並びに議案第 「藤沢市農業委員会の選挙 よる委員の定数を定める条例 の全部改正について」ほか8議 計19議案は、3月6日に 設置された予算等特別委員会に おいて9日間にわたり審査が行 われました。

その結果、3月22日の本会 で全て可決されました。

ここでは、予算等特別委員会

の審査の概要をお知らせします。

清水竜太郎

智

礼子

宗也

久代

機関である藤沢市医師会と|

基準について聞きたい。

教育長に平岩

教育委員会委員

の任命等にも同意

年間。

永井俊二氏

(藤沢市在

ら33年3月31日までの4

任期は29年4月1日か

答弁 保育士の宿舎借り上

全戸配布のほか、受託医療|対効果、対象者の条件及び

西

脇

友田

"

"

"

さまざまな機会で周知啓発

度を活用し、物件1戸当た げについては、国の補助制

り月額8万2千円を上限に、

〇教育長の任命について

の1人が、平成29年3月31

日をもって任期満了となる

〇人権擁護委員候補者の

平成29年度予算等特別委員会委員 副委員長 武藤 裕介

幹郎

委員長 井上

政哉

伴子

秀憲 英明

和美

光雄

絡手段や活動内容の確認等|的確な災害情報の共有化を については、団員同士の連|を定期的に実施し、迅速で ので、デジタル簡易無線機 信活動のために使用するも いを含めた交信研修や訓練 るとともに、 土屋 俊則 委 員 山内

山口

原田

柳田

平川

渡辺

覚書を締結した全国健康保

康づくり推進事業に関する

また、平成27年3月に健

国が2分の1、市が4分の

設置者側が4分の1を

教育委員会委員が、平成

現教育長である藤沢市

険協会神奈川支部に続き、

設を対象とした。制度を導

期満了となるため、新た 29年3月31日をもって任

意を求めるもの。

員の2人が、平成29年6

藤沢市域の人権擁護委

ることについて、議会の同

ため、新たな委員を任命す 推薦について

な教育長を任命すること

について、議会の同意を

負担するもので、今回26施

堺

"

"

"

無線の取り扱

|診の受診率向上及び健康づ

補填されるため、保育士の の保育士については費用が

求めるもの。

33年3月31日までの4年間。

任期は29年4月1日から 議会はこれに同意した。

となるため、候補者を推 月30日をもって任期満了

·飯島広美氏(藤沢市在住)

会の意見を求めるもの。 薦することについて、議

議会はこれに同意した。

任期は29年7月1日か

相互会社湘南支社とがん検

29年2月には住友生命保険 | 入することにより、26施設

備することにより、災害現 れらの無線機を消防団に配 の構築に努めていく。 協定等により連携 がん検診の周知啓発 | 今後具体的な取り組みにつ | 以内の保育士とする現在の

いて協議していく。今後も

|ているが、本市も同様の対

について

藤沢市教育委員会委員

議会はこれに同意した。

|藤沢市在住)

桒山直子氏

(再推薦

の教育委員会委員の任命

いて、議会の同意を求める | 藤沢市在住) な委員を選任することにつ 一・櫻井光雄氏

(再推薦、

対象を拡充する考えを示し

運用が可能となる。また、 化が図られ、効率的な部隊 | 向上させることは、健康寿 化や、指示命令系統の統一 能となり、災害情報の共有 場での円滑な無線運用が可 命日本一の目標を達成する 質問がん検診の受診率を |発に努めるとともに、関係|象とするかは各施設におけ 受診率向上に向けて周知啓

普及啓発に取り組むのか聞 |機関と連携して取り組んで|る保育士の配置状況や平成

緊急時の連絡手段が確実に|きたい。 害時において、団員同士の 台風などの警戒活動時や災 |上で大切だが、どのように

相互連絡や各分団間での交 | 線運用マニュアルを作成す | 成人検診のお知らせなどの | に資するのか、また、費用 員の安全確保が図られる。 確保されることで、消防団 今後は、藤沢市消防団無|じさわ、市ホームページ、 普及啓発としては、広報ふ 答弁 受診率向上に向けた

いきたい。

|支援事業補助金が創設され たが、人材確保、離職防止

事業者の状況も考慮したい が設置されているなどの各 市内の物件が補助対象と考

象物件についても、原則は

保育士宿舎借り上げ 離職防止等を図る

**質問 保育士宿舎借り上げ** えているが、市境に保育所

もの読書活動の推進に努め 一動を進めていく中で、子ど に確実に届く体制を整える を充実させ、必要とする方 レルギー対応製品の備蓄を べきだが、備蓄の状況と対 と考えている。 設のある備蓄倉庫におおむについては、市内の避難施 行っている。これらの食品

用率が上がったなどの効果 | 開放を実施しているため、 | ある。 アルファ米について 図書館の整備が進んだ、利 |ある。現在、片瀬中学校で | と、粉ミルクが104缶で |食品とわかるような形で表 |者や、流動食が必要な幼児 は、長期保存食のクラッカ 米のおかゆが約1万1千食 応食品の備蓄は、アルファ |通常の粉ミルクとは別にア| また、粉ミルクについても、 ーを食べにくいという高齢 できるため備蓄している。 レルギーのある方にも活用 本市のアレルギー 営が図られるよう、食品の を持った視点で避難所の運 た要配慮者に対しての配慮 示を整理するとともに、避 際に一目でアレルギー対応 使用に関する啓発に努めて アレルギーのある方を含め て、自主防災組織等の中で、 難施設運営委員会等を通じ ね保管している。 今後、備蓄物資の使用の

## 討していきたい。また、対 29年度の採用状況を見て検 聽 員 全 員 協 聴会を開催

政運営の

総合

議員全員協議会は、2 沢市市政運営の総合指針2 終案をまとめ、名称を「藤

指針の評価等をもとに最 市民からはパブリックコ 行った。 運営の総合指針2016 月8日に開催され、市政 れの委員会の間には各部 委員会を開催し、それぞ に、庁内では13回の改定 推進会議、地区全体集会 ップのほか、郷土づくり の改定について報告を受 などで意見を伺うととも メントや市民ワークショ いただいた意見や現行の 課での検討を進めてきた。 け、これに対し、 今回の改定に当たり、 市の説明 針については、基本方針の 視点としての目指す都市像 義、構成と期間、長期的な している。「はじめに」に 及び「第2章重点方針」と

けたものである。 マごとに喫緊の課題に対 応する重点施策を位置づ

指針2016の について記載した重点事 む事業と予算見込み額等 4年間に重点的に取り組 重点施策に基づき今後

なっている。また、重点方 期プランとの整合を図る 行の項目を継承したものと | 再整備プランの第2期短 と基本目標を位置づけ、現 ていき、第2次公共施設 ついては、策定の背景と意 ていく。事業の内容につ 通し等を示し、基本方針に として確実な実施に努め ついては、本市の現状と見人出しながら最優先事業 じめに」「第1章基本方針」 | 財政的な裏づけについて 沢を目指して―」とした。| 行の138事業から45事 020-郷土愛あふれる藤 業 (案) については、現 一定について報告 最終案の全体構成は、「は | 業減の3事業を選定した。 中で財源をしっかりと生 いては別冊として今後作 成する事業集に位置づけ は、今後の行財政改革の

長期的な視点を踏まえた上|効果を得ながら毎年度見 5つのまちづくりテー とともに、行財政改革の